

7 平成28年度中期戦略事業プランの取組に関する成果

* 中期戦略事業プラン「主な事業」のうち、特に力を入れて取り組んだ事業を掲載しています。

暮らし力

生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる (8,342万円)

自ら取り組む健康づくりの推進

○恵まれた医療を活用した健康づくり推進事業

医療機関との連携による医療講座の開催や、健康教育、健康相談を実施するとともに「健康いせはらサポーターの会」の活動を支援し、市民が自ら取り組む健康づくりを推進した。

○体力づくり推進事業

昨年度に引き続き「チャレンジデー」への参加や、総合型地域スポーツクラブの充実など、様々な主体と連携した健康づくりを推進し、市民が運動に親しむ機会を提供した。

○食を通じた健康づくり推進事業

市民の健康の維持・増進を図るため、料理コンテストを開催したほか、食育推進のための各種教室や相談を実施するなど、食生活の改善を推進した。

○健診を通じた健康づくり推進事業

東海大学医学部との連携による「健康バス」を運用し、健診受診の動機付けを行うとともに、生活習慣の改善に向けた「いせはら市民健康アカデミー」を開講するなど、生活習慣病などの疾病予防の取組を推進した。

○がん検診推進事業

健康増進法に基づく胃、大腸、肺、乳、子宮がん検診を実施するとともに、口腔がん検診への事業補助を行った。また、平成28年度からは集団検診に加え、医療機関で実施する施設検診においても肺がんの二重読影を導入し、受診率の向上と、がんの早期発見、早期治療に努めた。

みんなで支え合う福祉のまちをつくる (2,843万円)

多様な連携による地域福祉の推進

○成年後見・権利擁護推進事業

平成28年11月1日に伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターを伊勢原市社会福祉協議会内に設置し、認知症高齢者や知的・精神障害者などが安心して暮らせるように、相談や成年後見制度の案内等を行い、権利擁護の推進を図った。

高齢者の地域生活支援の充実

○高齢者生きがいづくり推進事業

高齢者の地域における就労やボランティア活動などを支援するシルバー人材センターへの運営支援、高齢者趣味の教室の実施、老人クラブ活動支援を行った。

○いきいきシニア事業

介護予防のための人材育成、ミニデイ(サロン)など自主活動グループの立ち上げ・グループの活動継続や交流、関係機関との連携への支援、介護予防のための高齢者ボランティア活動の促進及び介護予防の普及啓発を行った。

障害者の地域生活支援の充実

○障害者相談支援事業

療育・保育・教育・福祉・就労に至るまで切れ目のない一貫した支援を行うため、相談支援従事者の確保及び資質向上を含めた事業の充実・強化を図った。

子どもを産み育てやすいまちをつくる (4億2,218万円)

子育て家庭への支援の充実

○小児医療費助成事業

小児の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成することにより、子育て世帯における経済的負担の軽減を図った。また、平成28年10月から、小学4年生までとしていた通院に対する助成対象を小学6年生までに拡大し、子育て世帯に対する支援の拡充を図った。

○不妊症・不育症治療費助成事業

妊娠・出産を望んでいる世帯を支援するため、不育症の治療費に対する助成を行った。また、平成28年度からは、一般不妊治療費に対する助成制度を創設し、更なる支援の拡充を図った。

○妊産婦・新生児保健指導事業

安心・安全な出産のために必要な妊婦健康診査に係る費用の一部を助成した。また、平成28年度からは、妊婦歯科検診に係る費用の助成制度を創設し、早産等の要因である歯周病の予防や治療へつなげ、安心して子どもを産みやすい環境づくりを進めた。

多様な働き方が選択できる保育の充実

○子ども・子育て支援事業計画推進事業

仕事と子育ての両立を支援するため、小規模保育施設の新規開設に伴う施設整備や認定こども園の施設改修に対する補助を行うほか、「子ども・子育て支援事業計画」に掲げた目標を達成するために必要な事業を計画的に推進した。

次代を担う子ども・若者の育成支援の推進**○放課後子ども教室推進事業**

地域住民の参画を得ながら、子どもたちが放課後の時間に、安全に過ごすことができる遊びや活動の場として、「いせはら未来っ子クラブ」の年間を通じた活動を実施するとともに、平成28年10月に同クラブの3カ所目となる竹園小学校区について、「児童コミュニティクラブ」との一体型による活動を開始した。

子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる**(1億7,614万円)****きめ細やかな教育の推進****○小学校教科担当制等推進事業**

小学校における教科担当制を拡充・推進し、小中学校の連携によるきめ細やかな学習指導、生活指導を行うことで、児童の学力の向上と円滑な中学校生活への適応を図った。

○外国語教育推進事業

小中学校への外国語指導助手（ALT）の配置を拡充し、小中学校における国際理解教育の充実及び小学校外国語活動と中学校外国語科における実践的コミュニケーション能力の育成を図った。

○教育相談事業

教育センター教育相談員の配置を拡充し、来所・電話・訪問などの相談を実施した。また、児童生徒のよりよい学校生活のため、学校との連携・協働に努め、小中学校でのスクールカウンセリングを実施した。

○訪問型家庭支援事業

児童生徒が安心して学校教育を受けられるよう、家庭と福祉をつなぐスクールソーシャルワーカーの配置日数を拡充し、訪問型家庭支援の充実を図った。

安全で快適な教育環境の整備**○小中学校校舎屋上・外壁修繕事業**

安全で快適な教育環境を確保するため、伊勢原小学校3期校舎外壁修繕工事及び竹園小学校校舎外壁修繕工事を実施した。

○小中学校校舎等改修事業

学校施設の機能や性能を向上させ、安全で快適な教育環境の充実を図るため、成瀬小学校エレベータ設置工事を実施した。

学習成果を生かせる生涯学習の推進**○生涯学習推進事業**

幼児から青少年、高齢者まで、多様な世代に対して公民館講座、市民大学（市民協働事業）、市内の大学との連携による大学開放講座等を実施し、生涯学習支援の充実を図るとともに、生涯学習推進リーダーの養成に努めた。

○スポーツ・レクリエーション活動推進事業

各種競技大会を実施するとともに、伊勢原射撃場の市民利用を促進し、関係機関との協働により講習会等を実施することにより、市民スポーツの振興と競技人口の拡大及び人材の育成を推進した。

歴史・文化遺産の継承**○宝城坊本堂保存修理支援事業**

市域に残る貴重な文化財を次代に引き継ぐため、本格的な修理としては江戸時代以来となる「日向・宝城坊」の国指定重要文化財「本堂」の保存修理を支援した。平成23年1月から始まった本堂の保存修理工事は、平成28年11月に予定どおり終了した。

安心力**災害から市民のいのちを守るまちをつくる****(5億3,641万円)****みんなで取り組む地域防災力の強化****○地域の防災リーダー養成推進事業**

自主防災会の中核を担う防災リーダーの養成を図るとともに、自主防災活動に必要なヘルメットなどの資機材を助成することで、地域の自主的な防災活動の充実・強化を図った。

いざという時の危機対応力の強化**○市政情報多重化推進事業**

災害時において防災情報等を迅速かつ的確に市民等に伝達するため、市営峰岸住宅に防災行政用無線（固定系）屋外子局を増設するとともに、23箇所の屋外子局をデジタル化に移行した。また、災害時における情報連絡体制を確保するため、神奈川県災害協力病院に指定された伊勢原協同病院にデジタル移動通信システムの可搬型無線機を増設した。

○防災機能をもつ公園整備推進事業

伊勢原協同病院の移転跡地に、防災機能をもつ新たな公園を整備するため、用地取得や実施設計を行った。また、既存公園において、かまどベンチなど防災機能を兼ね備えた設備等の整備を進めた。

被害を最小限に抑える減災対策の推進

○公共下水道地震対策事業

被災時の減災対策として、石田小学校にマンホールトイレを設置した。また、大規模地震発生時における医療拠点の流下機能を確保するため、見附島地区において汚水第24-6幹線の布設替工事、神戸地区等において汚水幹線管路の耐震化工事を実施した。

○土砂災害・浸水被害避難体制推進事業

成瀬地区に新規に指定された土砂災害警戒区域（急傾斜地）について、土砂災害ハザードマップ（成瀬地区）を作製し、警戒区域や避難方法等の周知を行った。

○公共下水道浸水対策事業

浸水被害の軽減を図るため、沼目地区の雨水渋田川第4幹線及び、矢羽根川流域地区（東大竹地区）の雨水矢羽根第1-1幹線の整備工事を実施した。また、石田地区に雨水排水ポンプを設置する工事を実施した。

暮らしの安全を守るまちをつくる (1,845万円)

地域とともに取り組む防犯対策の推進

○地域防犯活動推進事業

子どもの見守り活動及び夜間パトロールなど地域の防犯活動を支援し、市民の防犯意識を高める取組を推進するとともに、犯罪の抑止や体感治安の向上を図るため防犯カメラを市内1箇所を設置した。

○高照度防犯灯整備事業

既存の20W型防犯灯などをESCO事業により一斉に高照度のLED型防犯灯へ変更することにより、省エネルギー化による環境負荷の低減や維持管理費の削減を図った。

迅速で適切な消防・救急体制の充実

○消防水利施設整備事業

消火活動に必要な不可欠な消防水利の計画的な整備を推進するため、消防水利施設整備計画に基づき、耐震性を有する貯水槽1基及び消火栓2基を整備し、消防水利の脆弱地域の解消を図った。

互いに尊重し合うまちづくりの推進

○男女共同参画推進事業

伊勢原市男女共同参画推進委員会と共に男女共同参画フォーラムを開催するなど、男女共同参画についての理解と啓発を推進した。また、DV被害者のための支援を行った。

○平和都市宣言推進事業

中学生平和学習や平和のつどいなどの事業を実施するとともに、平和史料の収集・公開事業を行った。

活力

地域の産業が盛んなまちをつくる

(2,180万円)

地域を支える商業・工業の振興

○企業立地促進事業

関係市町、金融機関等との情報交換や県と連携した企業訪問等の企業誘致活動に取り組んだ。また、「さがみロボット産業特区」として、生活支援ロボットの普及・啓発やロボットリテラシー教育に取り組むとともに、既存中小企業の販路拡大等に向けた見本市等の出展を支援した。

○商店街活性化支援事業

商店会が実施する商店街への集客・誘客イベント等を支援するとともに、創業支援と連携した空き店舗等活用事業を推進し、商店街の活性化及び利便性向上に取り組んだ。また、第2次商業振興計画に沿った重点プロジェクトの活動を支援し、賑わいと魅力ある商店街づくりに取り組んだ。

地域とつながる都市農業・森林づくりの推進

○農業経営基盤強化対策事業

農地の集約を図る担い手や就農初期段階の青年就農者を支援し、優良農地を確保した。

○有害鳥獣対策事業

有害鳥獣対策協議会及び鳥獣被害対策実施隊を中心に、捕獲圧を高めるなど、鳥獣による被害防除対策を地域とともに効果的に推進し、鳥獣による被害の軽減とヤマビルの生息域の縮小を図った。

多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる

(7,775万円)

伊勢原ならではの観光魅力づくり

○大山魅力再発見事業

県の新たな観光の核づくり事業の認定を受けた「平成大山講プロジェクト」により、こま参道手すり設置工事を行うとともに、地方創生加速化交付金を活用した大山フリーWi-Fi環境の整備を行い、大山・日向を中心とした地域振興や国際観光地づくりに取り組んだ。

○日向魅力アップ事業

日向薬師バス停公衆便所の修繕工事を実施し、日向薬師など歴史・文化と豊かな自然の魅力を生かした個性的なまちづくりを推進するとともに、他地区との連携により、地域の活性化に取り組んだ。

いせはらシティセールスの推進

○シティプロモーション推進事業

市公式イメージキャラクターを活用し、各種イベント等へ積極的に参加したほか、いせはらシティプロモーション推進計画に基づく取組を進め、本市の魅力を市内外に発信した。

都市の骨格を支えるまちをつくる

(3億5,737万円)

地域特性を生かした新たな産業基盤の創出

○東部第二土地区画整理推進事業

伊勢原市東部第二土地区画整理組合が施行する事業の円滑な進捗を図るため、関係機関協議など技術的援助を行うとともに土地区画整理事業補助金を交付して組合を支援した。また、組合と協力して企業誘致を進め、企業立地に向けた準備に取り組んだ。

○北インター周辺地区まちづくり推進事業

新たな産業用地の創出に向け、伊勢原北インター上粕屋地区土地区画整理組合設立準備委員会の設立後、現況測量調査や区画整理設計などを実施してまちづくりの事業化に向けた具体的な検討を進めた。

交流がひろがる拠点の形成

○伊勢原駅北口周辺地区整備事業

伊勢原駅北口周辺地区の市街地整備の事業化に向け、地元組織である伊勢原駅北口整備推進協議会を母体とした街区ごとの土地利用検討部会が設置され、土地利用等について意見交換を重ね、合意形成を進めた。あわせて、基盤整備となる道路や駅前広場の計画について関係機関協議を進めるとともに、交通結節機能改善に向けて、昨年度に引き続き都市計画道路伊勢原駅前線の用地先行取得を進めた。

愛着のある美しいまちをつくる

(288万円)

地域の個性あふれるまちづくりの推進

○景観まちづくり推進事業

景観まちづくり推進のための市民参加事業を実施するとともに、景観計画及び景観条例に基づき、伊勢原らしい景観形成を図った。

みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる

(3,928万円)

自然共生社会の構築

○水源環境保全再生事業

自然石による護岸整備など、自然環境に配慮した水路整備により、水質の向上と水循環の保持を図った。

○生活系雑排水対策事業

日向川流域の一部地区で県水源環境保全・再生市町村交付金を活用し、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を促進させ、生活雑排水による日向川の水質汚濁の防止を図った。

安全で円滑な移動ができるまちをつくる

(1億4,559万円)

バリアフリー対策の推進

○安全な歩行空間整備事業

子どもや高齢者、障害者など誰もが、安全で円滑に移動できるよう、通学路緊急合同点検結果を優先に、歩行空間の整備を実施した。

○ノンステップバス導入促進事業

バス事業者と協調しながら、ノンステップバス導入を促進し、路線バスの乗降時の段差解消を図った。

移動しやすい交通対策の推進

○愛甲石田駅南口バス路線開設事業

バス事業者に必要な支援を行いながら、引き続き、公共交通不便地区へのルートを増設を進めた。

○地域公共交通対策事業

公共交通空白・不便地区の解消をめざし、バス路線の拡充等に加え、地域の実情に応じた移動手段の導入の検討を進めた。

都市の機能を高める基盤施設整備の推進

○都市計画道路田中笠窪線整備事業

道路ネットワークの骨格となる都市計画道路田中笠窪線の整備を進めた。

○公共下水道整備事業

公共下水道の未普及箇所の整備を推進し、公共用水域の水質の保全と市民の快適な生活環境の向上を図るため、田中、池端、伊勢原3・4丁目、桜台4丁目、下糟屋地区等において管渠整備工事を実施した。

公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進

○橋りょう長寿命化対策事業

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、震災時の緊急輸送路などに位置づけられている橋りょうの修繕を計画的に実施した。

○公園長寿命化対策事業

都市公園を市民が安心・安全に利用できるよう、スポーツ施設の更新や老朽化した遊具施設の更新を実施した。

自治力

地域の力が発揮できるまちをつくる

(1億1,934万円)

市民や様々な団体との市民協働の推進

○市民活動サポートセンター運営事業

市民活動サポートセンターにおいて、市民や市民活動団体に必要な情報の提供、市民活動に関する相談、団体同士の交流の促進などの事業を展開し、市民活動の拠点施設として円滑な運営を図った。

○市民協働推進事業

市民、市民活動団体と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、提案型協働事業を積極的に推進した。

多様なつながりで支える地域運営の推進

○地域活動推進事業

自治会連合会運営交付金や地域集会所修繕の補助などにより、自治会活動への支援を行った。

市民に身近な市役所づくり

○市政広報活動事業

広報いせはら及び市ホームページ等の充実やパブリシティの強化を図り、市民が必要とする情報を分かりやすく提供した。

○オンライン化などによる行政サービスの拡大

平成29年7月から始まる、特定個人情報の団体間の情報連携に備え、税、保険料等のシステムを修正し、他団体との情報連携テストを行った。また、住民票の写しなどのコンビニ交付について、導入準備を行った。

○市民相談事業

市民生活の様々な課題の解決のために、特別相談を実施するとともに、消費生活相談員の配置を拡大して、消費生活に関する相談体制の強化を図った。

次代へつなげる確かな行財政運営ができるまちをつくる (4億8,492万円)

健全で安定した財政運営

○賦課徴収事務の改善

不動産・債権等の財産差押を強化するとともに、自動車や捜索による動産等の公売を開始し、徴収率の向上を図った。また、納税コールセンターを効果的に運用し、滞納の抑止に努めた。

○事業公社の健全化

財団法人伊勢原市事業公社経営健全化計画に基づき、市が事業公社に委託して整備した施設等の計画的な債務返済を行った。

○まちづくり市民ファンドの充実

制度の周知や市民ファンドの運用状況の公表を行うとともに、市外の寄附者からの寄附に対する返礼品制度を導入し、寄附の増加による歳入の確保と特産品の知名度アップによる地域経済の活性化に努めた。

市民に信頼される市政の推進

○職員の人材育成の推進

職員研修計画に基づき、階層別研修や派遣研修、課題・職能別研修を計画的に実施するとともに、多くの職員が研修に参加できる機会を設けた。また、新たに政策形成能力向上を図る研修へ職員を派遣するとともに、研修受講後の意識・行動の変化等や研修効果を検証しながら、職員の能力・意欲の向上を図った。

○窓口サービスの向上

住所異動等に関連する手続きのワンストップ窓口について円滑な運営に努めるとともに、総合窓口機能の拡充に関する検討を進めた。